

銀の風

大田市立病院 〒694-0063 大田市大田町吉永1428番地3

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。

大田市立病院 検索



ホームページ



facebook (viva!) 大田市立病院



facebook

- 新規採用職員紹介
- 診療科profile『麻醉科』
- 災害に備えるVol.3「非常食の選び方と準備の6つのポイント」
- 新病院建設NEWS No.3
- 新規着任医師紹介
- 外来診療一覧

Vol. 2 2

2019 春号

※『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。

—— 新しい仲間を迎えて



4月1日、窓の外では新病院建設工事が順調に進むなか、辞令交付式を行いました。今年度当院では、医師6名（初期臨床研修医3名含む。）、診療放射線技師1名、臨床工学技士1名、管理栄養士2名、助産師3名、看護師9名、事務職員1名、計23名の新入職員を迎えました。初日から早速研修が始まり、病院の成り立ちから公務員としての服務、各部署の業務概要など2日間にわたる盛りだくさんの内容でした。参加者からは「社会人としての心構え、公務員としての自覚を持つことが出来た」「多職種連携、チーム医療の重要性がわかった」などの感想が聞かれ、それぞれに大田市立病院で働く決意を新たにしていました。

今後の大田市立病院を引っ張っていく若い力に期待します。

平成31年度 新入職員のみなさん



採用初日の研修の様子

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

診療科profile 『麻酔科』

麻酔科ってどんなことをしてるの？

麻酔科医というと、もっぱら手術時に麻酔をかけているイメージがあるかもしれません。確かに、手術麻酔を行うことは、麻酔科医のもっとも大切な仕事のひとつですが、このほかにも、痛みに関する治療を行うペインクリニックや手術中の患者さんの全身管理（心臓の動き、呼吸状態、血圧などを監視・コントロール）なども行います。

ペインクリニック外来について

人の営みの中には手術以外にも強い痛みを感じ、痛みを取りたい、やわらげたいと思う場面はたくさんあります。慢性的な身体の痛みや病気やケガの後のいつまでも残っている痛み、がん末期の耐えられない激痛などです。このような場合には、原因となる病気の治療のみならず、痛み自体の治療も必要になります。これが、ペイン（＝痛み）クリニック（＝診療）という麻酔科医が行う診療です。当院でも、週4回ペインクリニック外来を行っています。

当科を受診されるのは、主に他の診療科や診療所で痛みの治療に難渋された方や知人の勧めや自らの経験で来院される方などです。

ペインクリニック＝注射＝怖い・痛いイメージがあるかもしれませんが、およそ半分は注射を伴わない治療です。また、痛みの機序を推察し、いわゆる鎮痛剤（痛み止め）ではない薬剤を組み合わせることにより痛みを緩和する治療も行っています。



院長

にしお ゆうじ
西尾 祐二 医師

・日本麻酔科学会認定医
・日本ペインクリニック学会専門医

部長

やなぎだに ただお
柳谷 忠雄 医師

・日本麻酔科学会専門医、指導医
・日本ペインクリニック学会専門医



超緊急帝王切開シミュレーション訓練に参加する柳谷医師(写真右)

術前から術後まで切れ目なくケア

手術と聞けば、誰もが怖いと思うのは当然です。体にメスを入れて病気を治すという、非常に特殊な治療法だからです。しかし、多くの患者さんが、手術後元気に日常生活に戻って行かれます。実は、ここに麻酔の果たす大きな役割があります。麻酔を行うことにより、手術中に体に侵襲（痛みや恐怖など）を感じないだけでなく、呼吸、循環や体温などを熟睡しているのと同じ状態となるよう麻酔科医が管理しています。また、手術後には術後回復という大事な要素があります。術後は、早期離床と

いって、出来る限り早い時期から体を動かす方が良いのです。そのためには、傷の痛みを取らなければなりません。麻酔科医は、これらのことも踏まえながら、それぞれの手術に適した麻酔法を考え、術前診察で丁寧に説明を行い、同意を得たうえで実際の麻酔を実施しています。こうすることで、術後回診で「思ったほど痛みはなかった」と笑顔で応えられる患者さんもおられます。

当院は、日本麻酔科学会の認定病院で、ベテラン麻酔科医が麻酔を担当しています。年間麻酔科管理手術は380件程度で、小児から高齢の方まで広い年齢層の患者さんが対象です。全ての手術が可能というわけではありませんが、関係機関と連携しながら、当院で可能な手術は出来る限り対応します。



災害に備える -Vol.3- 『非常食の選び方と準備の6つのポイント』

① 好物を備蓄する

災害は不安やストレスをもたらし、心に傷を与えます。さらに食欲もなくなるので、自分へのお見舞いの気持ちで、「おいしいもの」「好物」を備蓄しましょう。



② ローリングストックする

備蓄する食品の賞味期限は、6カ月程度で十分です。なぜならローリングストック方式（※）なので、賞味期限が長い必要がないからです。



※普段食べているものを多めに買い置きし、期限が切れる前に食べ、不足分を新たに補充する方法

③ 災害食は水分が少ないことを知っておく

災害食は長期保存を目的としているため、水分が少ないのが難点です。水分が少ない食品は飲み込みにくく、のどが渇きやすくなります。また、全体的に味付けが濃いものが多いので、薄いものを選びましょう。

④ 飲料水の備蓄は1日3リットル



この量は、食べ物や飲料水から体内に取り込む水分と、尿や汗として体外にでていく水分のバランスで決められた値で、生活用水は含んでいません。また、災害時は食べ物が不足し、食事から水分がとりにくくなるため、普段以上に水分を補給することが大切です。このため、飲料水の備蓄は食べ物の備蓄より大切となってきます。

⑤ 使い切りサイズを選ぶ

食品の分量は使い切りサイズが望ましいでしょう。大きいサイズの缶詰などは残食が出てゴミ処理に困ります。特にカップ麺の汁は、避難所に捨て場がないため無理に飲み干すことにもなります。インスタント麺を備蓄するなら、汁のない焼きそばが健康面でもゴミ処理面でも良いといえます。

⑥ 野菜や果物の加工品は大切



食品の種類は偏らないようにしましょう。特にビタミン、ミネラルなどの微量栄養素、食物繊維が不足しがちになりますので、野菜や果物の加工品を備蓄することをお忘れなく。野菜ジュース缶は災害時の頼れる助っ人です。
(栄養管理科)

新病院建設NEWS -No.3-

『病室モデルルーム』見学会を行いました！

このほど、病院職員を対象に、新病院で整備する4床病室のモデルルームの見学会を行いました。

新しい病室は、現在より約14㎡広くなり、各室に洗面台を設けます。また、隣のベッドとの間に収納家具を配置するとともに、概ね二部屋毎に個室トイレを設置するなど、患者様の利便性とプライバシーに配慮した設計としています。

インテリアは、木目を基調とした温かい色彩とすることにより、リラクゼーション効果の高い空間デザインを目指しました。

今後は、医療スタッフ等の意見を聞きながら最終調整を行い、内装工事を進めていく予定です。



〔病室洗面台〕



〔4床病室モデルルーム〕



〔個室トイレ〕

泌尿器科
中村 成伸



泌尿器科医として大田市のお役に立てるように頑張ります。

外科
石飛 一成



消化器外科医として、大田圏域の医療に貢献できるよう精進して参ります。

総合診療科
(大田総合医療育成センター)
木島 庸貴



4月から赴任いたしました内科(総合診療科)の木島です。大田市がより健康な町になるように頑張ります！

外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

令和元年5月1日 現在

診療科	月	火	水	木	金
内科	●	●	●	●	●
神経内科	●		●隔週		
呼吸器内科		●			●
消化器科	●	●		●	
循環器科		●	●	●	●隔週
メンタルヘルス科				○	
小児科	●	●	●	●	●
外科	●	●	●	●	●
呼吸器外科					●
心臓血管外科			●※1		
整形外科	●※2		●※2		●※2
脳神経外科			●	●	●
皮膚科	●※3	●	●	●	●
泌尿器科	●	●	●	●	●
産婦人科	●	●	●	●	●
放射線科		●		●	
ペインクリニック	●		●	●	●
眼科	●※4				●※4
耳鼻咽喉科		●		●	
総合診療科		●			
リウマチ外来	○			○	
腎臓内科		○			
血液・腫瘍内科			●	●	
ペースメーカー外来					○※5
小児神経外来				○※6	
小児心臓外来		○			
発達障害外来				○※7	
乳児健診		○			
小児予防接種					○
緩和ケア				○※8	
乳がん検診	○※9		○※9	○※9	○※9



～編集後記～

木々の緑もだんだん色が濃くなり、空気も澄みきっていて春から夏へとうつろいゆく季節となりましたね。入学や就職などで新生活を始められた方も、少しずつ新しい生活にも慣れてこられたことでしょう。平成という30年の月日が過ぎ、新しい元号「令和」が発表され、令和元年を迎えました。皆様の新元号の予想は当たっていましたか？「平成」の《平》と「令和」の《和》を掛け合わせ、これからも平和な年が続いていく事を心から願います。

(担当 Y・E)

【受付時間】 8:30～11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 第2・4・5水曜日
- ※2 予約券をお持ちの方は8:30～15:30(初診の受付を制限する場合があります)
- ※3 隔週で午後の診察(13:15～15:00)もあります
- ※4 初めて受診される方は8:30～10:30
- ※5 第2金曜日14:00～16:00
- ※6 第1木曜日 ※7 第2木曜日 ※8 第3木曜日
- ※9 前週の火曜日または木曜日にレントゲン撮影があります

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063
島根県大田市大田町吉永1428-3
TEL: 0854-82-0330
FAX: 0854-84-7749